

エンドトキシン検出用 コントロールスタンダードエンドトキシン 使用説明書

本品は *Escherichia coli* UKT-B 株を培養して得た菌体からフェノール法^{1), 2)}によって抽出したエンドトキシンです。
ライセート試薬によるエンドトキシン検出用のコントロールスタンダードとしてご使用下さい。

内 容

コントロールスタンダードエンドトキシン *E. coli* UKT-B 由来
(凍結乾燥品) 1 バイアル (500ng)
1 バイアル当り LPS 実質重量 500ng が入っています。
(添加剤としてマンニトールとグリシンを含む)

使用方法

本品にエンドトキシンフリーの水 5mL を加えて激しく攪拌して完全に溶解して下さい。エンドトキシン 100ng/mL の溶液が得られます。溶解後は冷蔵保存 (2 ~ 10℃) で 1 ヶ月間使用できます。

上記の溶液 (100ng/mL) をエンドトキシンフリーの水で順次希釈を繰り返してご使用下さい。希釈後の本溶液はできるだけすみやかにご使用下さい。

力価は国内標準エンドトキシン、US Reference Standard Endotoxin などの標準品と対比して決定して下さい。相対力価は LAL のロットによって変わることがありますのでご注意下さい。

ご使用上の注意

1. ピペットその他の器具、溶解、希釈用水などによるエンドトキシンの汚染には十分ご注意下さい。
2. 本品はリムルステスト以外の目的には使用しないで下さい。
3. 本品を吸いこんだりしないよう取扱いには十分ご注意下さい。

【貯 法】 2 ~ 10℃ 保存

【包 装】 500ng (精製 LPS として)

【コード番号】 293-16541

【参考文献】

- 1) Westphal, O., Lüderitz, O., Eichenberger, E. and Keiderling, W. : *Z. Naturforsch.*, **7b**, 536 (1952).
- 2) Westphal, O., Lüderitz, O. and Bister, F. : *ibid*, **7b**, 148 (1952).
- 3) Akama, K., Kuratsuka, K., Homma, R., Kanoh, S., Niwa, M., Iwanaga, S. and Nakahara, C. : *Bacterial Endotoxin*, eds. Homma, J. Y. *et al.*, p395, Verlag Chemie (1984).
- 4) *The United States pharmacopeia 41st*, U.S. Pharmacopeial Convention Inc.
- 5) Hochstein, H.D., Mills, D.F., Outschoorn, A.S. and Rascogi, S.C. : *J. Biol. Standardization*, **11**, 251 (1983).

製造元

**富士フィルムヘルスケア
マニファクチャリング株式会社**
三重県三重郡菰野町大字大強原2613-2

販売元

富士フィルム 和光純薬株式会社
大阪府中央区道修町三丁目1番2号
Tel : 06-6203-3741